

東毛

大 館 太 桐
 わ たら せ 林 田 生
 泉



災害救助犬 迅速に

みどり市とNPOが協定

緊急車両と同等の対応

みどり市は18日、笠懸庁舎でNPO法人・災害救助犬ネットワーク(本部・富山市、西坂直樹理事長)と「災害時における災害救助犬の出勤に関する協定」を結んだ。同市内が被災した際に建物の

下敷きになった人を助けるため、救助犬が迅速に派遣される。県内で締結した自治体は桐生市に次いで2例目。同NPOは阪神大震災直前から活動を始めて2007年9月に正式発足。岩手県から鹿児島県までの24都府県で



みどり市と出勤協定を結んだ災害救助犬と会員たち

103人の会員があり、45匹の認定犬が所属している。協定締結により救助犬と会員は出勤にあたって同市内で緊急車両と同等の対応を受けることが可能となり、迅速に被災地に入ることができると述べて、西坂理事長は「一人でも多くの人を救うため日々訓練をしている。もしもの時に生かしたい」と意気込みを話した。

締結式には西坂理事長ら会員8人と救助犬3匹が来庁。石原条市長は「いつ災害が起こるか分からない。活動しやすい環境をつくりたい」と感謝の言葉を述べ、西坂理事長は「一人でも多くの人を救うため日々訓練をしている。もしもの時に生かしたい」と意気込みを話した。